

演目

半能 高砂

武田 邦弘



狂言 附子

茂山 七五三



能 土蜘蛛

片山九郎右衛門

亀

山

薪

能



平成27年8月29日(土)

■ 開場 午後5時

■ 開演 午後6時

[終了予定時刻 午後8時15分]

亀山薪能特設会場

[亀山市立亀山西小学校グラウンド]
亀山市本丸町585番地

※雨天の場合は、亀山市文化会館大ホール
(亀山市東御幸町63番地)

問合せ

亀山市市民文化部文化振興局文化スポーツ室

TEL: 0595-84-5079

E-mail: bunkasports@city.kameyama.mie.jp

写真提供 金の星 渡辺写真場

主催/亀山市 協力/武田謳楽会・亀山謳楽会

龜山薪能

龜山薪能は、龜山城多門櫓を背景に行われ、「龜山」の個性を醸し出す文化行事として親しまれており、今回は市制施行十周年記念事業として開催いたします。

今回の演目「高砂」と「土蜘蛛」は、平成四年開催の第一回龜山薪能で行われた、龜山市にとって縁のある演目です。どちらも、雄大なスケールとシヨ一的な華やかさを持った初心者にも楽しく見ることのできる能の一つです。

龜山城を背景に、かがり火のゆらめく幽玄の世界をご堪能ください。

※お客様へのお願い

- ・許可した以外の方の写真撮影・ビデオ撮影・録音はご遠慮ください。
- ・薪能開催中における、小型無人機（ドローン）等の持込み・飛行等は固くお断りします。

演目紹介

半能 高砂（たかさご）

室町以降現在に至るまで、能の代表的な祝言曲として、広く人々に親しまれており、寿ぎ、祝いといっためでたさに加え、どこまでも明るく、崇高で清らかな雰囲気



「高砂」の一場面

狂言 附子（ぶす）

或る家の主が、「附子という猛毒が入っている桶には近づくな」と使用人である太郎冠者と次郎冠者に言いおいて外出する。しかし留守番を命じられた太郎冠者と次郎冠者は、附子のこと

が気になって・・・。一休さんのとんち話にもある、有名な狂言です。

能 土蜘蛛（つちぐも）

病氣中の頼光のところ、胡蝶という女が薬を持って見舞いにくる。その後、夜になると今度は僧が現れ病状を問うので頼光が怪しむと、千筋の糸を投げかけてきた。頼光が枕元にあった太刀で斬りつけると、形を消して消え失せる。その物音に驚いた独武者が駆けつけ、頼光の話

を聞き、先に斬りつけた血の跡をたどって退治に向かう。

※演目の詳細な解説については、当日薪能会場でお配りするプログラムをご覧ください。

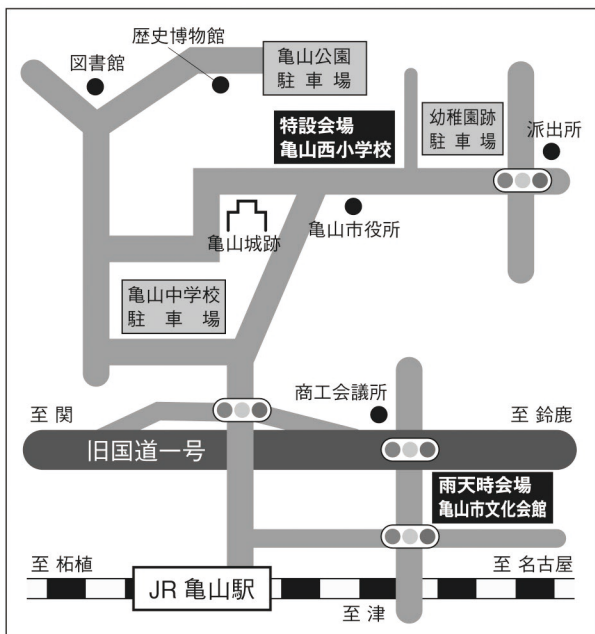
駐車場ののご案内

駐車場は、次のとおりです。

- 龜山中学校駐車場
- 幼稚園跡駐車場
- 龜山公園駐車場（徒歩10分）

駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共機関をご利用いただくか、乗りあわせにてお越しくください。

会場周辺案内図



問合せ先

龜山市民文化振興局文化スポーツ室
電話 0595(84)5079